

手技

及川 ふみ

その一つの行き方としていろ／＼得るところがあると思ひます。たゞこの話のまゝでは落葉樹の運命を悲惨と感じさせたり、悪口を云つた報いと感じさせたりしないでもありません。この話から取材して、先生方の頭の中でもつと明るい構想を練つて、表現していただきたいと思ひます。更に、寒さに耐へてゆく常緑樹の姿、寒風にさらされてゐる落葉樹の枯木のやうな幹に、枝、春を迎へる新たな生命の躍動がこめられてゐること等も明るい、力強いお話として聞かせたいものです。

瘤取り爺さん 所謂音嘶の瘤取り爺さんです。たゞこゝで誠に嬉しいのは、鬼に瘤を取つてもらふのにわざと惜しい様子をするといふ技巧もなければ、まして、その瘤を翌日出かけて行つた悪いお爺さんにくつゝけるといつた勸善懲惡の結果に終らせてもゐないことです。

「ぼん」と面白かつたのね。明日の晩、又あそびませう。お爺さん、又いちつしやいよ、それでは何かお約束の爲、おあづかりしませうね「何をあづけておかうかね」あ、この瘤がい、この瘤がい」と皆でウーンと瘤を引張りましたので瘤はきれいにどれてしまひました。「アハ、ハ、ハ」と皆は大笑ひ、お爺さんも大わらひ、「それぢや、さやうなら」と鬼の子は歸つてしまひました。お爺さんは、瘤がなくなつて顔がかるくなつたので大よろこび、急いで家へかへりました。

この朗らかな、愉快さをこのまゝの響を以て幼児の心に傳へたものです。

十月は心身鍛錬に一年中最もよい季節である。幼児たちの楽しむ運動會も、遠足もこの心身鍛錬の上から、その目的を充分にはたす様に今年は殊更にその計畫を慎重にしなければならぬ。

この月の手技も、その材料もこんなところから取つてみたいと思ふのである。

運動會

幼児たちの樂しみの頂上であつた運動會を主題として手技の材料を考へて見る。

これは粘土製作、紙仕事、いづれの方法によつてもよい。年少組、年長組によつて粘土製作をとり、或は紙仕事をとつてもよいし、又或は兩者入れまぜて作つてよい。時節柄會場の裝飾などは簡單にしておいて、幼児たちの運動會での活動の状況がよくあらはされるものがよい。幼児體操をしてゐるところであるとか、運動競争をしてゐるところであるとか、或は兵隊ゴツコの場面であるとか、こんなところに製作物の目標をおいて計畫をたて、見たい。細かい部分をあらはさないでたゞ競走をしてゐる人、兵隊ゴツコの兵隊さんなどは粘土で簡單に作ることにする。粘土も運動會の様にしばらく保育室の一隅に並べておいて次々と製作を續けてゆく様な場合にはこわれがたい紙粘土がよい。泥粘土で作

ると乾くにつれておひくこわれていつも補ひばかりしてゐなければならぬことになる。

年長組の幼児であれば粘土製作でも勿論いろ／＼面白いものが出来るが、観察も細かになり、製作にも力が出来てゐるのであるから紙仕事として運動會の光景をあらはすとよい。紙仕事も勿論立體的に作るのであるが、高射砲、機關銃、大砲などホール紙で簡単に作り兵隊や戦車などは畫用紙、古端畫で作ることにする。

兵隊は平面の畫用紙に幼児たちに自由に畫かせて頭の上のところに二つ折に紙を打つて切りはなすと簡単な形のもので頭の上が輪になつて立體的に立たせる事が出来る。戦車、高射砲、大砲などの類は實物や、寫眞、繪などでの観察をもととして出来るだけ幼児たちに考へさせて作らせるとよい。勿論先生の方でも幼児以上これ等のものに對しての智識と、これに對しての製作上の自信とをもつてゐる事は云ふまでもない事である。

運動會の製作は粘土製作、或は紙仕事いづれの場合にしても、一組或は一かたまりの幼児たちの共同製作にするのが適當である。

遠足

遠足を題材として製作するには個人の携帶品としてごく簡単な望遠鏡、提かばんなどを作るとよい。望遠鏡は古葉書で適當のものが出来るであらうし、提かばんはホルルの空箱、ことに書籍の外箱など手頃でよい材料になる。

この外に遠足を主題としては乗つてゆく電車、汽車或はバスを

作るとか、遠足先の目的地にあつた風物を作るとか、或は途中で見たものを作るとか考へ出せば製作の材料になるものも澤山にあることである。

自然物おもちゃ

尙九月に引きつゞいて十月は自然物でおもちや作りの材料の澤山にある季節である。

遠足の先きでの木の實、草の實其他おもちやの材料になるものを思ひがけなく手に入れることもある。幼稚園の庭、近くの公園などでもおもちやの材料になるものは拾ひあつめておくことよい。材料によつて幼児と共に工夫して遊ぶとよい。

こゝに考へておかなくてはならない事はこの自然物おもちやの材料を得る爲に、幼児たちの草木に對しての心持を正しく養ひなければならぬ事である。

ある年若き保姆さんの體驗談として伺つた事であるが、自然物おもちやを作る爲に園庭の草木から材料をとつてゐたが、それ以來多くの幼児たちは幼稚園の樹木を大事にしなくなり枝をとり實をむしるといふ事になつたので大いに考へてゐるとのお話であつた。そんなことを伺つて自分でも反省した事であるが、幼児たちには或は草の花をむしり木の實をむしる様な傾向はある様である。その上先生の方までが自然物おもちやの材料など、稱して幼稚園にある木の葉木の實をとつてゐるのを見るときには尙更にそんな氣があふられるかもしれない。そこで私共は考へて見たい。この幼児たちの自然物に對してともしればおこりやすいこの悪い習慣の

是正を自然物おもちゃを作る機会において正しく指導する最もよい機会を得たと考へて見たいのである。幼児と共に材料の集め方などについて幼児たちによく得心の出来る様に、或は又みだりに草木はおとりとるべきものでない事など實に適切に指導の出来る好機をのがしてはならないのである。

自然物おもちゃの取扱ひ方の場合においてのみでなくすべて手技製作の機会において様々の幼児の日常生活上の弊の場合をのみがしてならないのである。尙廣くは保育事項すべての項目と弊の問題はいつもはなれる事の出来ないものである事を痛切に考へさせられるのである。

誘導保育

菊池ふじの

動物園。秋は、殊に九月の末から十一月にかけては運動會や遠足などの行事が多く、じつくりと仕事に精出すといふ機会がどうしても少くなると思ひますが、それはそれで大いに結構なことです。その合間々々に前からの動物園をつとけて行きませう。先づこの度は古葉書利用に致しませう。年少組のことですから、型紙があつて、それを二つ折りにした古葉書へあて、描き、それを切り抜いて採色してゆくことに致します。かうすると、立てることに苦心は要りませぬ。二ツ折りにした古葉書へ型をあて、書くといふことは、子供にはなか／＼六ヶ敷いことで、最初から獨りて

出来る子は少いです。

象、カンガルー、豚、キリン、ラクダ、猿、虎、ライオン、熊、兎、龜、鶏、小鳥、小屋、餌入れ等を次々と拵へる。各児がこれだけのものを全部作つてもよいし、又一ケループづゝ受持つて或數種を作り、各グループのな然るべく拵へて動物園にしてもいい。又最後に持たせてかへす時各幼児のな大きな畫紙にでも動物園らしく並べ、各個人の動物園としてやることも、子供は大變に喜ぶのであります。

お部屋の動物園が出来たら、ホスターなどを幼児に作らせて幼稚園中に貼り、入場券を作つて各組に案内し、こゝに出来た動物園を見せて上げ、又見て貰ふことは子供達お互に取つて、どんなに嬉しいことであり、張り合ひのあることであるか分りませぬ、途中にいろ／＼の行事がはさまるにつけても、組全體を引つぱつてゆく熱意が、保母には絶體に必要であることを痛感いたしました。

この月は、運動會の月であり遠足の月でありますから、一方に以上の動物園を繼續してゆくと同時に、その合間々々に粘土や厚紙で作つてゆける運動會を主題としたもの、又は遠足を主題とした小誘導保育を試みることは、大變にいゝことだと思ひます。